

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援 ぱれっとKids		
○保護者評価実施期間	令和7年 3月 25日 ~ 令和7年 4月25 日		
○保護者評価有効回答数 (対象者数)	1	(回答者数)	1
○従業者評価実施期間	令和7年 3月 25日 ~ 令和7年 4月 25日		
○従業者評価有効回答数 (対象者数)	7	(回答者数)	6
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 4月 28日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	毎日始業前には朝のカンファレンス時間を設け、送迎の確認やその日の利用児童の状態・スケジュールの確認を行っている	晨から出勤するパート従業員も併せて情報共有ができるよう、申し送りを2部構成にすることの検討。2部構成にすることで、半日のスケジュール遂行確認もできると考える。
2	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	各相談員を筆頭に定期的なモニタリング・担当者会議を実施し、他職種と情報交換することで、成長過程に合わせた支援内容の検討を行っている。	継続し他職種間連携を行う。個別支援計画書の見直し頻度を上げ、より細やかな支援につなげられるようにする。
3	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	ホームページに支援プログラムを提示するほか、インスタグラム等のSNSで日々の活動の様子を発信している。	いままでの投稿だけでなく、ストーリー機能の活用や、投稿頻度を増やす。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	以前は夏祭りやクリスマス会に保護者も参加していただけ、その際に家族会を行っていたが、コロナの流行後、より大規模な祭りができていない。	感染症の流行に注意しながら、保護者や兄弟も参加し交流ができる機会を設ける。
2	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	対象児童が利用開始して間もないため、地域交流までの活動の幅を広げさせていない	地域のこども園や保育園と連携し、地域交流の機会を設ける。
3	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	第三者の配置がない。	第三者の配置を検討し、評価へつなげる。